

# いっぽ舎だより

平成 23 年 11 月創刊号発行

## 地域活動支援センターいっぽ舎だより 創刊号

**N**PO 法人いっぽいっぽが運営する地域活動支援センター「いっぽ舎」は、平成 23 年 6 月の本格的なスタートから試行錯誤しながら、もうすぐ半年を迎えようとしています。設立・開所当初から、また日々の活動の中から、多くの方々からご意見・ご協力を頂き、一つ一つ皆さんの力によって、いっぽ舎が作られていくことを肌で感じ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

いっぽ舎では、不慮の事故や脳卒中の後遺症などとして、最近よく耳にするようになった「高次脳機能障害」を併せ持つ身体障害者の方を中心に、日中活動の場として作業や余暇活動などを提供しています。高次脳機能障害に関しては、広く認識されるようになったものの、目に見えない障害ということもあり、高次脳機能障害をもつ身体障害者の方々を受け入れてくれる施設は、川崎市にもほとんどありません。そこで「いっぽ舎がその先駆けとなる」なんてカッコよく言ったものの何か特別な支援を提供しているといったことはありません。ただ日々心がけていることは、（なんでもそうだと思うのですが）支援者側が（高次脳機能障害のことについて）知らない、障害を持っている方は、きっといろんなことを誤解されてお終いなんだと、だからそういうことにならないように、いっぽ舎の利用者に対しては、今までにその利用者に関わってきた人から情報を集め、観

察し、客観的な全体像を把握したうえで、各利用者にとって望ましい対応を随時提供できればと思っています。こういうことを踏まえてさまざまな活動に挑戦しています。

- 1、健康維持促進のプログラム
- 2、軽作業などの創作的・生産的活動
- 3、余暇活動
- 4、その他（啓発活動・各種イベントへ参加）

固い言い回しだと上の 4 点という感じですが、要は利用者にとって、まず楽しくあって、「知らず知らずのうちに健康を意識してみたり」「もっと運動がしたい」「あんなことしてみたい」「もしかしたらこんなこともできるかも」等、今まで気づかなかったことや自分の思い込みで制限していたことを見つけ出せる手助け・後押しができればと思っています。実際の活動自体は、もしかすると、とても地味で遠回りなことばかりしているかもしれないけど、5 年、10 年先に実を結ぶように、今から種をまき、少しずつ育てていければと思っています。



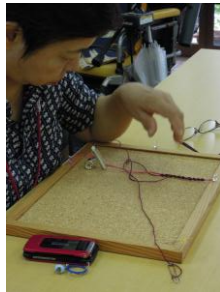
## 作業・活動内容

- ヤマト福祉財団とヤマト運輸によって作られた（株）スワンから野菜（じゃがいも、たまねぎ等）やいろいろな福祉施設で作られた商品を仕入れて販売しています。

☆みんなで計量してじゃがいもやたまねぎを袋詰めしています。



- ハンプ（麻ひも）を使ったアクセサリーや小物の製作。



☆ミサンガやブレスレット、ストラップなど少しずつ作れるものを増やしています。

- ハーブや野菜の栽培。



☆ゴーヤを植えて緑のカーテンを作りました。小ぶりのゴーヤが20本近く収穫できました。

☆その他にもツルムラサキやバジル、ミニトマトなど栽培しました。

☆水やりのし過ぎに注意しながら、一人一鉢でイチゴを育てています。

• 製品販売。

いっぽ舎前のスペースにて、簡易テントをはり、買い物に来たお客様と少し会話をしながら、販売をしています。今後はもっといろいろな場所へと販売に出向いていきます。

• 毎朝 ミーティングと体操。

体操は、椅子に座った状態で、簡単にできるものを行っています。

## いっぽ舎の活動報告

- 7月
- 暑気払い（いっぽいっぽ主催）
  - 上布田つどいの家夏まつり販売出店
  - 音楽療法士による音楽療法に 4 名参加

- 9月
- 八景島シーパラダイスへ日帰りバス旅行（いっぽいっぽ主催）
  - いっぽ舎前にてガレッジセール開催
  - 北部リハビリテーションセンターから講師を招き、高次脳機能障害デリバリー研修開催（利用者・家族・職員合計 15 名参加）



- 10月
- 赤い羽根共同募金参加 登戸駅改札前にて
  - 理学療法士による運動療法に 4 名参加（体操と頭の体操）
  - 多摩川の里フェスティバル販売出店

- 毎月/1回 ひばりの会（言語療法士による言葉のリハビリ）
- 随時 紙すき教室、でこせっけん教室、ビーズ教室参加（いっぽいっぽ主催）

## 近況報告

- お散歩クラブを結成し、毎週月曜日の午後、1 時間程度お散歩しています。



各々のペースでいっぽ舎の周辺を散策。普段はあまり気にしていない景色に新しい発見がたくさんありました。

- ・メンバーから有志を募り、多摩市民館で全5回のボッチャの共学セミナーに参加しています。ついこの間、初めての参加にもかかわらず、ボッチャに魅せられて、次のセミナーはまだかと首を長くしています。セミナー終了後には、いっぽ舎のプログラムの一環として取り入れていきたいと思えます。

## 今後の予定

- ・平成23年
  - 11/15（火）川崎アゼリアサンライト広場にて販売。
  - 11/25（金）麻生養護学校文化祭にて販売。
  - 12/10（土）北部リハビリテーションセンターフェスティバルにて販売
- ・平成24年
  - 1/17（火）パサージュ・たま販売出店予定。
  - 1/20（金）リハビリ交流会に参加。

## 終わりに

いっぽ舎施設長 安田孝高

「いっぽ舎だより」創刊号をやっと発行することができました。頭の中では、早く地域の方や関係者・関係機関にいっぽ舎の開所と活動内容を伝えたいと、はやる気持ちがありました。でもそこはぐっと辛抱し、いっぽ舎の利用者が、まず安心できる雰囲気と環境をつくり、少しずつそしてゆっくりと、いっぽ舎での日常に慣れていけるよう作業やプログラムを用意してきました。今、開所から半年が経とうという中、利用者の中から「いっぽ舎は、作業はもちろんだけど、それ以外のこともたくさんあって楽しい」という声を聴くともっともっといろんなことを取り組んでいこうと気合いが入ってきます。また利用者から「畑がやりたいね」と……。すぐにはできないけど必ず畑仕事ができるように環境を整えてやると決意を新たにしました。

最後に、まだまだ小さな駆け出しの施設ですが、これからも皆様からのご意見をいただきながら、利用者のニーズに沿った施設をめざしてまいります。今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

## 地域活動支援センター いっぽ舎

〒214-0014

川崎市多摩区登戸369 第1ふじたけマンション103

TEL&FAX 044-299-8483

E-MAIL [npo-ippoippo-ipposya@adagio.ocn.ne.jp](mailto:npo-ippoippo-ipposya@adagio.ocn.ne.jp)